第３講　経済循環と現代の企業

1　経済主体と経済循環

①経済主体

収入と支出の経済活動を行う主体。経済活動は，一般的に**３つの経済主体**を循環している。

A　**家計→**同一の生計を立てている世帯（個人を含む）

労働力・資本・土地を企業に生産要素として提供するかわりに，賃金・利子・地代（ちだい）・配当などの形で**所得**（労働〔勤労〕所得と資産〔財産〕所得）を得て，租税や社会保険料を除いた**可処分（かしょぶん）所得**により**消費**を行う経済主体。

※消費支出は，家計が保有する有価証券や不動産の価格が上がると増える。これを**資産効果**とよぶ。

※所得から消費支出を差し引いた残りを**貯蓄**といい，預金した通貨や株式・公債・社債，保険料支払いがそれにあたる。日本は貯蓄性向が高い国。

※家計は，効用の最大化がおもな目的。

B　**企業→**会社など

家計から労働力・資本・土地を得て財やサービスを**生産**し，収入として**利潤**を稼ぐ経済主体。利潤の一部は家計に分配されるが，他は内部留保として，拡大再生産のため**投資**に利用される。

※利潤とは，売上高から**費用〔コスト〕**（原材料費・人件費・広告宣伝費・借入金利払い・**減価償却（げんかしょうきゃく）費**など）を差し引いた残額。

※企業は，**利潤の最大化**や**市場占有（せんゆう）率〔マーケットシェア〕**を高めることがおもな目的。

C　**政府→**中央政府と地方政府

家計や企業に課す租税や社会保険料などから収入を得て，**公共財**を提供し行政を行う。また，生産や消費を含む**経済全体の調整役**として**財政**を行う経済主体。

※公共事業による**社会資本**〔インフラストラクチャー〕の整備，**公共サービス**（教育・医療・警察・消防など）の提供，**資源配分の調整**，**所得の再分配**，**景気の安定化**などにも支出を行う。

D　その他

NPO〔非営利組織〕や NGO〔非政府組織〕は「４つめの経済主体」ともよばれる。

②経済循環

家計・企業・政府という３つの経済主体の間で，貨幣を仲立ちとして財・サービスが取り引きされる流れ。これにより一国単位の**国民経済**が成立している。

２　現代の企業

①企業の種類

A　**私企業→**民間企業

あ　個人企業

農家や個人商店など。個人または家族経営。

い　共同企業

会社企業〔法人企業〕と組合企業（農業協同組合・生活協同組合など）に分かれる。

B　**公企業→**国や地方公共団体が出資・経営（**民営化**が進む）

あ　国営企業

なし。

い　**地方公営企業**

都道府県や市町村が経営する，上下水道・ガス・バス・地下鉄など。独占が認められている。

う　**独立行政法人・特殊法人**

国立印刷局・造幣（ぞうへい）局・国立大学・国立病院・国立博物館など。

え　公庫

日本政策金融公庫など。

C　**公私合同企業〔公私混合企業〕→**国・地方公共団体と民間の協同出資

あ　**第三セクター**

国や地方公共団体（第一セクター）が，民間企業（第二セクター）と協同で設立した株式会社。鉄道事業や地域開発事業など。

い　特殊会社（株式会社形態）

日本電信電話〔NTT〕・JT〔日本たばこ産業〕・日本郵政など。

う　その他（特殊法人形態）

日本銀行・日本放送協会〔NHK〕・日本赤十字（せきじゅうじ）社など。

②会社企業〔法人企業〕の形態→会社法の施行（2006年）

法人〔リーガルパーソン〕は，法の上のヒトで，モノではない。自然人と同様に，権利と義務の主体となる。

A　**合名会社**

あ　出資者

無限責任社員１人以上。

い　経営者

無限責任社員。

う　株式〔持ち分〕の譲渡

全社員の承諾が必要。

え　特徴

所有と経営の一致が原則で，家族・親族経営など零細・小規模会社が多い。

B　**合資会社**

あ　出資者

無限責任社員１人以上と有限責任社員１人以上。

※有限責任社員は出資額の範囲内でのみ責任を負う。

い　経営者

すべての社員。

う　株式〔持ち分〕の譲渡

無限責任社員全員の承諾が必要。

え　特徴

所有と経営の一致が原則で，経営者の個性を基礎とする小規模会社が多い。

C　**合同会社→** 2006年の会社法施行により新たに創設

あ　出資者

有限責任社員１人以上（個人も法人も可）。

い　経営者

有限責任社員。

う　株式〔持ち分〕の譲渡

全社員の承諾が必要。

え　特徴

定款による自由な組織の運営を認め（＝定款自治），かつ出資者が有限責任を負う。所有と経営の一致が原則で，ベンチャー企業に適する。**アメリカから来た発想**で，日本版LLC〔有限責任会社〕ともいう。

※出資額と議決権が比例してもしなくてもよい。すなわち，出資者の言いなりにならなくてもよい。

D　有限会社→ 2006 年の会社法施行により**新規設立不可**

あ　出資者

有限責任社員 50 人まで。

い　経営者

出資者である必要はないが，有限責任社員がなることが多い。

う　特徴

１人役員可。資本金 300 万円以上。監査役なし。決算公告など不要。中小企業に多い。

E　株式会社（株式譲渡（じょうと）制限会社）

あ　出資者

有限責任株主１人以上（個人も法人も可）。

い　経営者

有限責任社員。取締役と監査役の設置義務があるが，取締役会の設置は自由。

う　特徴

旧来の有限会社のしくみを取り入れたもの。１人役員可。資本金１円以上。中小企業に多い。

F　**株式会社（公開会社）**

あ　出資者

有限責任株主（個人も法人も可）。

い　経営者

取締役３人以上と監査役の設置義務あり。**取締役会の設置は必須。**

※委員会等設置型会社の場合，監査役を廃止してもよい。

う　株式〔持ち分〕の譲渡

自由に譲渡可能。

え　特徴

資本金１円以上。旧来の株式会社制度に近い。多数の株式を発行することができ，大資本を集めやすい。**所有と経営が分離**しており，大企業に適する。

③株式会社（公開会社）のしくみ

株式会社は，均一の少額に分割(ぶんかつ)された株式という資本の形態をとり，不特定の個人・法人から巨額の資本を調達できる。

A　**株式**〔株券〕→ 2009 年から電子化〔ペーパレス化〕

出資比率などに応じて，企業から利潤の分配を**配当**などとして受ける権利。すなわち，会社を所有する権利で，資本を分割した最小単位。**持ち分ともいう。**

※企業が**上場**(じょうじょう)していれば株式〔証券〕市場で自由に売買され，需要と供給の関係で**株価**が決まる。また，株式の追加発行〔増資〕も可能。

B　**株主→**個人・法人（金融機関・外国法人・事業法人）

株式〔株券〕と引き換えに**資本金**を出資する。**社員**ともよばれる株主は，所有している株数に応じた経営決定権と利益分配権をもつ。

※従業員は株をもっていなければ，本来は社員とよばない。

※経営陣や従業員は，「ストックオプション」という，株式を前もって定めた価格で購入できる権利をもつ場合もある。

C　**有限責任**

出資額を限度とする。

D　**所有〔資本〕と経営の分離**

株主が会社を所有し，経営者（＝取締役会）が経営にあたる。高配当の維持や**キャピタルゲイン**（株の値上がり利益・売買利益）の実現など，株主価値の最大化が重視される。

※会社は**シェアホルダー〔株主〕**だけでなく，経営者・従業員・消費者・地域住民など**ステークホルダー〔利害関係者〕**全体のもの，という考え方もある。

※公表前の内部情報を利用して行う「インサイダー取引」は厳禁。

E　**株主総会**

株式会社の最高議決機関。一株一票で経営方針の決定などを行い，**取締役・監査役を解任・選任。**

※株主は一定の要件を満たせば議案の提出も可能。

④株式会社の資本調達

企業は損益計算書・バランスシート〔貸借（たいしゃく）対照表〕・キャッシュフロー計算書などの**財務諸表**を会計基準に従い作成し，これらの資料をもとに一定期間（一年・半期・四半期）の収支をまとめて**決算書**を作成する。

A　**自己資本**

あ　**内部留保（りゅうほ）**

い　**株式の発行**

※返す必要なし。

B　**他人資本**

あ　**金融機関からの借り入れ**

※利子をつけて返す。

い　**社債（しゃさい）の発行**

※利子をつけて返す。

⑤企業集団〔企業グループ〕

株式の相互持ち合い・系列融資・役員の派遣と受け入れ・集団内取引・社長会による交流などが行われる。

A　戦後の六大企業集団

三井・三菱・住友・芙蓉（ふよう）〔富士〕・第一勧業・三和（さんわ）。

※戦前の財閥の系譜を引き継ぐ。

B　現在の**三大メガバンク**

あ　**三菱 UFJ** フィナンシャル・グループ（もと三菱・三和）

い　**三井住友**フィナンシャルグループ（もと三井・住友）

う　**みずほ**フィナンシャルグループ（もと芙蓉・第一勧業）

⑥現代の企業の特色

A　**リストラクチャリング〔事業の再構築〕**

B　**アウトソーシング〔外注〕**

C　R&D〔研究・開発〕

D　**M&A〔合併（がっぺい）・買収〕**

とくに異種産業の合併・買収により生まれた企業を**コングロマリット〔複合企業〕**という。国境を越えて活動する巨大な**多国籍企業**はこの手法を活用していることが多い。

※コングロマリット〔複合企業〕とコンツェルン〔企業連携〕の違いは，近年は定義しにくくなっている。

※多国籍企業は，貿易拡大・技術移転などで国際交流に寄与する一方，資本逃避や受け入れ国での産業支配などの問題も指摘されている。

E　**持株会社**

他の会社の株式を，投資目的ではなく事業活動支配のために保有する会社で，総資産の半分以上を子会社の株式保有にあてる。**戦後長らく独占禁止法（1947 年～）により禁止されていたが，不況と外国企業に対抗できる大手企業を育成するため，1997 年に解禁された。**

※各子会社の収支が明確になり，リストラや多角化，新規参入の開拓などに役立つとされる。再編が進む金融機関でとくに多くみられる。

F　ソーシャルビジネス〔社会的企業〕への注目

G　役職の呼称変化

あ　CEO〔最高経営責任者〕

従来の会長などに変わる呼称。

い　COO〔最高執行（しっこう）責任者〕

従来の社長などに変わる呼称。

う　CO〔執行役員〕

取締役会が決めた経営方針を執行する権限を委譲された者。取締役が兼務する場合もあるが，本来はその手前の段階。

H　その他

メインバンク制・株式の相互持ち合い・役員の受け入れなど，銀行とのつながりが大きい企業も多い。

⑦企業の社会的責任〔CSR〕

A　**コンプライアンス〔法令遵守（じゅんしゅ）〕**

企業が商法・民法・労働法などを守り経済活動すること。モラル〔企業倫理〕を守ることも含まれている。

※モラルが守れないことを，モラルハザード〔倫理欠如〕という。

※内部告発者を保護する公益通報者保護法もある。

B　**ディスクロージャー〔情報開示〕**

企業が経営に関わる情報を投資家や株主，消費者に公開すること。

C　**アカウンタビリティ〔説明責任〕**

D　**コーポレート・ガバナンス〔企業統治〕**

シェアホルダー〔株主〕などが企業経営に関してチェック機能を果たすこと。他の利害関係者よりも株主の権利を優先するアメリカのガバナンス方式を取り入れた発想。

E　**メセナ**〔文化・芸術活動支援〕

F　**フィランソロピー**〔慈善活動・寄付行為〕

社会的貢献活動全般を指す。

G　**環境保護**・省資源・省エネルギー

1996 年から，環境に配慮していることを示す国際標準化機構〔ISO〕による認証が行われている（＝環境 ISO)。

⑧企業の諸問題

A　個人持株比率の低下＝法人持株比率の上昇

B　**株主代表訴訟**の活発化

1993 年に手数料が引き下げられたこともあり，経営者が会社に与えた損害に対し株主が起こす訴えが活発化。ガバナンス方式の典型例。

C　倒産

民事再生法や会社更生法も存在するが…。

〈***Note***〉

第３講　経済分野確認テスト

1 「３つの経済主体」のうち，最小の経済主体を選べ。

①家計　②企業　③政府　④ NPO〔非営利組織〕

2 租税や社会保険料を引いた，手取り収入のことを何というか？

①労働所得　②資産所得　③可処分所得　④利潤

3 「インフラストラクチャー」とは何のことか？

①資産効果　②減価償却　③社会資本　④継続的な物価高

4 公企業のうち，独立行政法人としてふさわしくないものを選べ。

①日本政策金融公庫　②国立印刷局　③国立大学　④国立博物館

5 国や地方公共団体が，民間企業と協同で設立した株式会社を何というか？

① NPO〔非営利組織〕　② NGO〔非政府組織〕
③第三セクター　④組合企業

6 2006 年の会社法施行により新たに規定された会社とは？

①合名会社　②合資会社　③合同会社　④有限会社

7 株式会社の「利害関係者」を示す用語を選べ。

①シェアホルダー　②ステークホルダー
③キャピタルゲイン　④バランスシート

8　「三大メガバンク」とよばれるグループとしてふさわしくないものを選べ。

①みずほ　②三井住友　③三菱 UFJ　④新生

9　「事業の再構築」をカタカナで何というか？

①ストックオプション　②リストラクチャリング
③コングロマリット　④アウトソーシング

10　他の会社の株式を,投資目的ではなく事業活動支配のために保有する会社とは？

①公私合同会社　②有限会社　③持株会社　④多国籍企業

11　CSR とは何か？

①企業の社会的責任　②法令遵守
③企業情報の開示　④企業統治

12　企業による文化・芸術活動支援をフランス語で何というか？

①ファランジュ　②メセナ　③フィランソロピー　④ラ＝マルセイエーズ

13　経営者が会社に与えた損害に対し，株主が起こす訴えを何というか？

①刑事訴訟　②株主代表訴訟
③アカウンタビリティ　④モラルハザード

解答

1	①	2	③	3	③	4	①	5	③
6	③	7	②	8	④	9	②	10	③
11	①	12	②	13	②				